

特別活動（ホームルーム）指導案

令和4年10月26日（水曜日）第6・7校時1年1組（1年1組教室） 指導者 栗原 昭久

1 題材 働くことの意義や、企業や社会で求められる資質・能力を考えよう

2 題材観（生徒の実態を含む）

本題材は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）第5章特別活動 第2各活動・学校行事の目標及び内容〔ホームルーム活動〕2内容（3）一人一人のキャリア形成と自己実現の「ア 学校生活と社会的・職業的自立の意義の理解」と「ウ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」に基づくものである。

実践協力校は、普通科・スポーツ科・芸術科の三つの科を有している。昨年度の進路先の内訳は、就職15%、進学85%（四年制大学35%、専門・短大50%）であった。このような生徒の実態を踏まえ、進路指導部では「生徒一人一人の、納得いく進路目標の実現を目指す。」という重点目標を定め、生徒一人一人の個性に応じた多様な進路実現を果たすべく柔軟に対応している。しかしながら、自分の進路に対して、将来を見据えた進路計画を考えている生徒は少数であり、全体的に進路決定に向けた始動が遅い傾向がある。そのため、3年次になってから、進路先が二転三転する生徒も多い。そこで、1年次のうちから働くことの意義や職業観・勤労観を理解し、職業や進路の選択について考えさせることにより、キャリアプランニング能力が生まれ、キャリア形成を見据えた進路実現につながると考え、本題材を設定した。

3 研修との関わり

研修先である株式会社SUBARUでは、人事部人事課人材開発係に所属している。主な業務としては、新入社員、中途入社及び正規採用された期間従業員の受け入れの教育研修や、従業員に向けた役職や階級別の研修、自己啓発のための通信教育、資格試験の取りまとめなどの社内の教育活動全般のサポート業務を行っている。

これらの業務を通して、社内の多様な職種の方と交流し、アンケートやヒアリングをする機会の中で、生計を立てる目的以外にも様々なやりがいを感じ、責任と誇りをもって仕事に取り組んでいる様子が見え、今後の人生プランを立てるにあたり、ほとんどの生徒にとって就職は生活をしていく上で必要な要素である。生徒には「お金を稼ぐこと」以外の働くことの意義を知り考えることで、今のうちから養うべき資質・能力に気付かせたい。そして、キャリアプランニング能力の向上の一歩として、高校1年生のうちから就職する将来を見据え、多様な職種に関する情報を適切に取捨選択し活用しながら、自ら考え判断しキャリアを具体的に形成していく力を育めるよう支援したい。

4 指導方針

- (1) 社員の方々に行ったインタビューやアンケートを基に、企業や社会で求められる資質・能力を考えさせる。
- (2) 自己のキャリアを意識した行動目標を設定させ、「私の行動宣言」と称しワークシートへ自分の言葉で表記させる。
- (3) 生徒の1人1台端末を活用し、インタラクティブプレゼンテーションソフトを用いてリアルタイムに意見の情報共有を図るなど、対話的な活動の場面を設定する。

5 評価規準

- (1) 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現
 - ・ 働くことの意義や、企業や社会で求められる資質・能力について考えている。
 - ・ 自己のキャリアを意識した行動目標を設定し、自分の言葉で表現している。

6 指導と評価の計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

時間	●ねらい ○学習活動 [☆] : ICT活用	目指す生徒の姿		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
事前の活動				
本時の活動	<p>●働くことの意義や、企業や社会で求められる資質・能力を考えさせ、自己のキャリア形成を意識した行動目標を設定する。</p> <p>○企業や社会で求められる資質・能力とその理由をワークシートへ表記する。</p> <p>○自己のキャリアを意識した行動目標を、「私の行動宣言」と称しワークシートへ表記する。</p>		働くことの意義や、企業や社会で求められる資質・能力を考え、キャリア形成を意識した行動目標を自分の言葉で表現している。	
事後の活動	<p>●「私の行動宣言」について、振り返り、まとめる。</p> <p>○ワークシートへ表記する。</p>		行動目標を振り返り、実践したことを表現している。	

7 本時の展開

(1) ねらい

働くことの意義や、企業や社会で求められる資質・能力について考えさせ、今からできる行動目標を設定し自ら考え判断しキャリアを具体的に形成していく力を育む。

(2) 準備

【教員】：ノートパソコン、ワークシート、タイマー

【生徒】：筆記用具、1人1台端末、事前に4人または3人のグループ座席を形成

(3) 展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の意識 [☆] : ICT活用	○指導上の留意点 ●努力を要する生徒への支援 ◇評価 (太字はキャリア教育との関わり)
20分	<p><導入></p> <p>1 本時のめあてを知る。</p> <p>○SUBARUという企業について知る。</p> <p>○本時のめあてを説明し、「現在の進路志望」や「何のために働くか」についてのアンケートを実施する。 [☆]</p>	<p>○研修先のSUBARUの企業説明を行う。</p> <p>○インタラクティブプレゼンテーションソフトの入力リンクを示してアンケートを行い、リアルタイムで集計結果を示す。</p>

	<p>※回答は生徒の1人1台端末からインタラクティブプレゼンテーションソフトへ入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（進路志望について）進学にしようかな。就職にしようかな。まだ決まっていないどうしようかな。 ○リアルタイムにアンケート結果を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケート入力が捗らない生徒には、「未定」の入力でよいことを伝える。 												
<p>[本時の学習課題]（めあて） 働くことの意義や、企業や社会で求められる資質・能力を考え、将来を意識した行動目標を設定する。</p>														
65分	<p><展開></p> <p>2 働くことの意義を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職業の三要素（経済性、個人性、社会性）について知る。 ○経済性だけを追求しても、仕事を続けるのは難しいことを知る。 ○SUBARUでの直接部門（製造業務）と間接部門（サポート業務）のそれぞれの役割について知り、間接部門（サポート業務）の社員がどのような仕事をしているかを予想する。 <p style="text-align: right;">[☆]</p> <p>※予想回答は生徒個々の1人1台端末からインタラクティブプレゼンテーションソフトへ入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○SUBARUの採用枠の3職種（技能職、技術職、事務職）と、その採用条件を知る。 ○SUBARU社員の働くことに関するインタビュー動画を視聴し、仕事のやりがいについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職業の3要素について、具体例を挙げて説明をする。 ○昨年度のSUBARUの採用実績によると、直接部門と間接部門の人数がほぼ同数であったことを示す。 ○SUBARUが自動車を製造販売するまでの過程に関わる様々な業種とその役割を模式図で示す。 ○SUBARUで採用している3職種の役割と、採用条件を説明する。 <table border="1" data-bbox="756 1585 1426 1845" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">直接部門</th> <th colspan="2" style="width: 66%;">間接部門</th> </tr> <tr> <th>技能職</th> <th>事務職</th> <th>技術職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クルマの製造</td> <td>社員のサポート</td> <td>研究・開発</td> </tr> <tr> <td>主に高校卒</td> <td>主に文系の4年制大学もしくは大学院卒</td> <td>主に理系の4年制大学もしくは大学院卒</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○SUBARU社員の働くことに関するインタビュー動画を流す。 	直接部門	間接部門		技能職	事務職	技術職	クルマの製造	社員のサポート	研究・開発	主に高校卒	主に文系の4年制大学もしくは大学院卒	主に理系の4年制大学もしくは大学院卒
直接部門	間接部門													
技能職	事務職	技術職												
クルマの製造	社員のサポート	研究・開発												
主に高校卒	主に文系の4年制大学もしくは大学院卒	主に理系の4年制大学もしくは大学院卒												

	<p>○SUBARU社員のインタビューやアンケート結果を参考に、仕事のやりがいについてまとめる。</p> <p>～休憩（10分）～</p> <p>3 企業や社会で求められる資質・能力について考える。</p> <p>○企業や社会で求められる資質・能力について、グループ内で互いに意見を出し合い、合意が取れた内容を代表者が全体に発表する。 ※意見は付箋紙に入力し台紙に貼る。</p> <p>○社員アンケートの結果等を参照して、企業や社会で求められる資質・能力について、ワークシートにまとめる。</p> <p>○SUBARUや群馬県が育成したい人材について知り、ワークシートにまとめる。</p>	<p>●記入が捗らない生徒には、「職業観は人それぞれで正解は無い」と伝え、自由な記入を促す。</p> <p>●グループごとの入力状況を確認する。</p> <p>○企業や社会で求められる資質・能力では、どのような類似点や相違点がみられるかを問う。</p> <p>○付箋紙を台紙に貼る際には、説明を加えるよう留意する。</p> <p>○求められる資質・能力に関する社員アンケートの集計結果を示す。 ◇企業や社会で求められる資質・能力を、自分の言葉で表現しまとめている。【思考・判断・表現】（ワークシート）</p> <p>○SUBARUと群馬県が育成したい人材について説明する。</p>
15分	<p><まとめ></p> <p>4 本時の学習の振り返りを行う。</p> <p>○本時の学習を振り返り、「私の行動宣言」を考えグループ内で共有する。</p> <p>○本時の学習を通じての気づきや感想をワークシートへ入力する。</p>	<p>○企業や社会で求められる資質・能力を意識して、具体的に表現するよう意識させる。</p> <p>◇自己のキャリアを意識した行動目標を考え、自分の言葉で表現している。【思考・判断・表現】（ワークシート）（キャリアプランニング能力）</p>

※資料添付

- ・ワークシート